

令和 6 年 12 月 25 日

各 位

薬局 医薬品情報室

第 291 回薬事委員会 伊勢原協同病院 採用薬品等について

*原則、令和 7 年 1 月 6 日以降より使用いたします。

院外採用薬はマスタ設定次第開始となります。

1. 新規採用薬品について

報告事項はありません。

2. 院外採用薬品について

(1) トビエース錠 4mg [泌尿器科] 薬価：142.3 / 錠

トビエース錠 4mg は、ムスカリン受容体を阻害することにより膀胱収縮抑制作用を発現する薬剤です。過活動膀胱の治療において広く使用されており、主に使用している泌尿器科のみの診療科限定として採用となりました。

3. 採用区分変更の薬品について

(1) ラコール NF 配合経腸用半固形剤 (300 g / 袋) 薬価：324 / 袋

ラコール NF 配合経腸用半固形剤は、主に在宅用の経腸栄養剤として使用されており、入院中から導入し退院する患者が多くなったため、用時購入薬へ採用区分を変更します。

4. 採用中止薬品について

(1) レグラパ錠 12.5mg (協和キリン) 薬価：186.2 / 錠

レグラパ錠 12.5mg は、発がん性物質の混入が判明したため全ロットが回収となりました。当院採用のオルケディア錠が適応症含め代替薬として使用できることから、採用中止とします。

(2) イトリゾール内用液 1% (ヤンセンファーマ) 薬価：37.2 / mL

イトリゾール内用液 1%は製薬会社の都合による販売中止の為、また現在使用している患者が居ないため採用中止とします。

5. 販売名変更の報告

報告する内容はありません。

6. メーカー変更の報告

・エスワнтаイホウ配合 OD 錠 T20、エスワнтаイホウ配合 OD 錠 T25

大鵬薬品 → 岡山大鵬

・バクスマ点鼻粉末剤 3mg

日本イーライリリー → グローバルレギュラトリーパートナーズ

上記の薬剤についてメーカーが変更となります。

7. 特別採用薬品の報告

－診療科限定－

1) ホクナリンドライシロップ 0.1%小児用 [小児科・院外] 薬価：11.5/g

(2) 小児用レルベア 50 エリプタ 30 吸入用 [小児科・院外] 薬価：4846.8/キット

(3) オテズラ錠 30mg [総合内科・院外] 薬価：989.6/錠

－患者限定 臨時採用薬使用－

(1) クリアミン配合錠 A1.0 [脳神経内科・院外] 薬価：12.9 / 錠

(2) タチオン錠 50mg [脳神経内科・院外] 薬価：7.6 / 錠

(3) フルティフォーム 50 エアゾール 120 吸入 [呼吸器内科・院外] 薬価：4405.3/キット

(4) トラクリア錠 62.5mg [総合内科・院外] 薬価：3327/錠

上記薬剤は、現在特定の診療科又は特定の患者において処方されている、処方が予定されている特定使用薬品です。申請された診療科及び患者のみ使用可能となっています。

8. 後発医薬品切り替えについて

(1) グリコペプチド系抗生物質製剤

現行品：テイコプラニン点滴静注用 200mg 「明治」(明治製菓ファルマ) 薬価：1,445 / V

後発品名：テイコプラニン点滴静注用 200mg 「トーワ」(東和薬品) 薬価：1,445 / V

上記の薬剤は、記載通り後発医薬品へ変更となります。

テイコプラニン点滴静注用 200mg 「明治」は、製薬会社の都合による限定出荷のため、後発医薬品より後発医薬品への切り替えとなります。

9. その他

—流通関連—

(1) ロイコボリン注 3mg 出荷再開のお知らせ

ロイコボリン注 3mg は、2023 年 3 月より海外製造所における製造工程の改善を進めていたましたが経済的な面において維持管理の継続が困難のため、他の海外製造所への移管に時間を要することから出荷停止となっていました。2025 年 1 月 15 日より供給が再開することになりました。供給の再開後に処方制限を解除する予定です。

(2) ツムラ麦門冬湯エキス顆粒 出荷制限解除のお知らせ

ツムラ麦門冬湯エキス顆粒は、2023 年 10 月よりコロナ感染症の感染拡大の影響を受け流通量が低下していましたが、2024 年 11 月 28 日より出荷制限が解除されました。また、供給が停止していたため、行っていた処方制限を解除しました。

(3) フェンタニル注射液 0.1mg 「テルモ」、0.5mg 「テルモ」 出荷調整について

フェンタニル注射液 0.1mg 「テルモ」及びフェンタニル注射液 0.5mg 「テルモ」は、海外製造工場への現地当局の無通告監査により生産を停止し改善を図った影響で、製品の製造と輸入に遅れが生じたため、出荷調整となっています。当院で使用されている月あたりの使用量分は確保できる見込みであり、麻酔科と連絡しながら対応しています。

(4) ドパミン塩酸塩点滴静注液 600mg 「KCC」 出荷停止について

ドパミン塩酸塩点滴静注液 600mg 「KCC」は、原材料調達上の問題により一時的な品薄による欠品を避けることができなくなったため 11 月より出荷停止となっています。出荷再開時期は、2025 年 1 月中旬であり、現在の在庫と従来の使用量を考慮すると、院内の欠品は起こさないと考えています。もし欠品となった場合は、注射アンプルの購入で対応する方針です。

(5) アナペイン注 7.5mg/mL 限定出荷について（続報）

アナペイン注 7.5mg/mL は、2024 年 6 月より出荷調整となり出荷量が減少していましたが、2024 年 12 月以降に出荷量が少し回復する予定です。

(6) モイゼルト軟膏 0.3%、モイゼルト軟膏 1% 限定出荷とその対応について

モイゼルト軟膏 0.3% (10g/本) 及びモイゼルト軟膏 1% (10g/本) は、需要の増加により十分量の在庫が無いため限定出荷となっています。モイゼルト軟膏 0.3% (28g/本) 及びモイゼルト軟膏 1% (28g/本) は、市場の流通量が十分あるため出荷調整となっておらず、「28g/本」の電子カルテ処方マスタを作成し対応します。

(7) シルガード9 水性懸濁筋注シリンジ 出荷調整について（続報）

シルガード9 水性懸濁筋注シリンジは、10月より出荷調整となっていました。12月以降は製薬会社側からの流通量が増大する予定です。院内の運用については従来通りの対応となります。

(8) エナルモンデポ筋注 250mg 供給に関するお知らせ

エナルモンデポ筋注 250mg は、原薬の調達に関することから出荷調整が継続されており、現在泌尿器科で1名、総合内科で1名使用しています。出荷調整のため、これ以上の使用患者増加が対応できないことから、処方制限（患者限定）を行い対応します。

(9) ジルチアゼム塩酸塩 R カプセル 100mg 「サワイ」 出荷調整について

ジルチアゼム塩酸塩 R カプセル 100mg 「サワイ」は、製剤の製造工程の問題により流通が滞っており、当院の在庫も僅少である現状です。今後の見通しにより、在庫量に合わせて処方制限を行う予定です。

—その他—

(10) ソル・コーテフ注射用 100mg 代替薬について

ソル・コーテフ注射用 100mg の今後の供給については、2025年4月まで限定出荷前の10%の流通量で継続し、「副腎不全」等の一部の疾患のみ対応できません。2025年5月以降に、日医工が製造販売する「水溶性ヒドロコト注射液 100mg」と合わせて限定出荷前の流通量となる見込みです。

当院ではアナフィラキシーショック時において、ソル・コーテフ注射用 100mg が汎用されていましたが、処方制限によりこれまで通り使用出来なくなったため、代替薬として厚生労働省 重篤副作用マニュアルに記載されている「ソル・メドロール静注用 40mg」を使用します。代替薬の換算は、ソル・コーテフ注射用 200mg ≒ ソル・メドロール静注用 40mg となります。

以上